

Poropare上でのMALDI*1イメージング: 目的にフォーカスした応用

*1 マトリックス支援レーザー脱離イオン化法

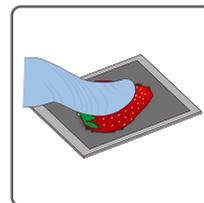
■ 測定の課題

上述の手法で薄切とマトリックス塗布不要の質量分析イメージングが実現されたが、この手法では検出されない成分もある。一方、MALDIは実績の多い手法だが、主に切片で実施されてきた。

■ アプローチ

Poropareにイチゴ断面の成分を転写させたあと、エアブラシでマトリックス(DHB)を塗布。その後MALDI-TOFMS装置で質量分析イメージングを実施した。

■ 測定手順



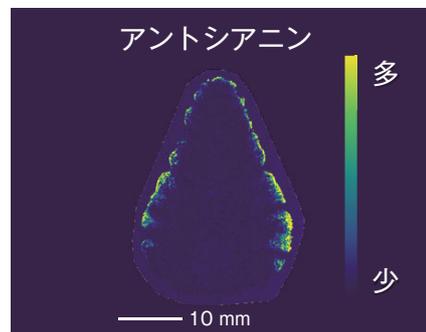
押し付けて転写



マトリックス塗布



装置へ導入!



Poropareの活用結果

- 薄切不要のMALDIイメージングが可能
マトリックス塗布による局在の乱れはほとんど見られない。
- 様々な前処理と組み合わせることが可能
さまざまな前処理やイオン化法を組み合わせることで、目的にフォーカスした結果が得られる。

※この資料の内容は、2025年7月現在のものです。仕様・性能は改良のため予告なく変更することがあります。

この製品について、ご意見・ご質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

浜松ホトニクス株式会社

WEB SITE www.hamamatsu.com

電子管事業部 〒438-0193 静岡県磐田市下神増314-5 ☎ (0539) 62-5245 ファックス (0539) 62-2205

問合せ先: 吉新 英朗 msi-t001@hpk.co.jp